

○東海大学講演会の様子と生徒の感想



講演会の様子 本校アリーナにて



スライド資料を用いて、ご説明いただきました。

☆生徒から東海大学の方へのお礼と感想

1組 H.Rさん

私の友人が東海大学と縁のある方だったので、以前から興味を持っていました。講演会では、東海大学の詳細についてお話くださり、とても有意義な時間を過ごせました。

凡事徹底。自分自身が一番できていないと身に染みて感じていることです。自分の興味もっている事柄に対してのフォーカスはしっかりしているけれど、一番やらなくてはいけないことは後回しにしてしまう。私はいわば都合のいい人間ですが、特に自己分析については、今一番やるべきことと感じて実践しています。今まで自分自身と向き合うことを怠ってきたため、考えなければいけないことがたくさんあります。しかし、より良い未来を切り開くため努力しようと思いました。講演後に質問にも答えていただき、本当にありがとうございました。

3組 C.Uさん

講演を通して、「進路選択の多様性」について考えました。大学やその先の未来は一つの正解だけではなく、自分に合った道を見つけることが大切だと感じました。講師の方の体験談を伺って、失敗や回り道も含めて人生だという言葉が印象に残りました。

進学や職業に対する考え方は人それぞれ違っていい、ということに気づきました。今までの私は「良い大学に入ることが大事」と思い込んでいましたが、講師の先生の話聞いて「自分が本当にやりたいことは何か」を考えることが大切だと気づき、もっと幅広く将来を考えてみたいと思いました。

今後は、様々な職業や大学のことについて調べたり実際に体験したりして、自分に合った進路を見つけていきたいです。また、オープンキャンパスや職場体験などにも積極的に参加して、自分の視野を広げたいです。なぜなら、自分の進路を決めるためには「知ること」が第一歩だと感じたからです。

11組 T.Kさん

私は、「合格できる大学ではなく、進学したい大学に行くのだ」という言葉が心に残りました。大学を選ぶときはやはり学力を気にしてしまっていて、自分が今合格できるところがどこなのかということを考えてしまうけれど、一番大事なのは自分のやりたいことであって、今の自分の成績ではないのだということを再確認することができました。これからは将来自分が何をしたいのかをよく考え、自分のやりたいことが一番できる大学はどこなのかを調べ、目指して行きたいと思いました。

16組 A.Kさん

私たちのために大学の説明をしてくださり、ありがとうございました。

今回、東海大学の方の講演を通して、私の大学での学びの姿勢や、進学に対する意識が大きく変わりました。小学校から高校までの教育は、カリキュラムが国や学校によって定められており、私たちは比較的「受け身」の姿勢でも学ぶことができていたように思います。しかし大学では、その姿勢は通用しないことを知り衝撃を受けました。自分が何を学びたいのかを自ら考え、どの授業を選び、どの教授のもとで学ぶかまで、自分自身の意思と判断が求められるとわかりました。

特に印象に残っているのは、「教授によって学べることが違う」という話でした。これは、保健師を目指している私にとって非常に重要な視点だと思いました。大学の看護学部に入るだけでなく、自分が興味を持つ公衆衛生や地域医療に関して、どの教授がどのような研究をしているのかを調べ、自分の学びと将来につながる環境を自ら選び取る必要があるのだと気づかされました。

また、大学には「多様な学び」「豊富な経験」「さまざまな人との出会い」があるというお話から、学問だけでなく人間として成長できる場でもあることを感じました。私の目標とする保健師は、人々の生活や健康に寄り添い様々な立場の人と関わる仕事です。つまり学力だけでなく、幅広い視野やコミュニケーション力、多様性への理解が必要不可欠です。大学での学びや出会いは、それらの力を育てる大切な土台になると確信しました。これからは、「大学に入る」ことを目標とするのではなく、「大学で何を学び、将来どう社会に貢献するか」を明確に意識して高校生活を送りたいと思います。そのためにも、自己分析を大切にし、自分の強みや課題に目を向けながら、一つひとつの学びに対して主体的に取り組んでいきたいです。将来は、地域の人々の健康を支える保健師として信頼される存在になりたいです。